

取扱説明書

Bit Beats 300

alpha tackle

このたびは、当社の電動リールをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、リール同様大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

もくじ

1. 安全上のご注意 ----- P2	6. コントロールボックスの説明 -- P8	8. 操作方法	9. セイフティー機能 -----P24～25
2. お取扱上のご注意 ----- P3～4	7. ご使用前の準備	* 船べり自動停止 ----- P16～17	10. 故障かな？と思われた時 -- P26
3. リールのお手入れ方法 -- P5	* 電源の接続方法 ----- P9	* 水面0セット ----- P18～19	11. 仕様一覧 -----P27
4. 主な機能と特長 ----- P6	* ラインデーター入力方法 ---- P10～15	* 柵モード ----- P20	12. パーツリスト -----P28～29
5. 各部の名称と機能 ----- P7		* 底モード ----- P21～22	
		* 高切れ修正 ----- P23	

安全上のご注意

● ご使用前に必ずお読みください。 ●

⚠ 警告



- 糸を平行巻きするレベルワインドと本体の間に指をはさまないよう注意してください。
- バッテリー、船電源を使用する場合は、所定の電圧 (DC12～14.8V) 以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、発熱による火傷や電子部品の破損につながります。
- 電動リールの微弱な電波の影響により、補聴器やペースメーカー等の医療機器に誤作動を発生させ、動悸や目まいが起こる場合があります。ご使用前に、該当医療機関等でご確認ください。

⚠ 注意



- 糸が勢いよく出ている時や巻いている時は、糸を手でつかまないでください。糸で手や指に怪我を負うことがあります。
- 液晶部の水滴や曇りが見られる場合、誤動作でモーター制御等ができなくなる恐れがあります。直にご使用を止めて修理にお出ください。
- 電動リールから焦げ臭い匂いがしたり、発煙等が出た場合、直に電源を外してください。発火やモーター制御ができなくなる恐れがあります。
- メッキや塗装等の表面処理が剥がれた場合、その部分が鋭利になっていることがあります。けがをする恐れがありますので触らないでください。
- 使用中に電源が外れたり、他の原因で画面表示が消えている時にハンドルで使用すると、画面表示復帰後に誤差が発生し、巻き込み等により竿が破損する恐れがあります。画面表示が消えていた場合は、穂先等の注意しながら巻き取ってください。
- 幼児の手の届く所では、保管、使用しないでください。
- 釣行後にお手入れをする場合、必ず電源コードを外してから行ってください。不意にモーターが駆動し、怪我やリールの破損の恐れがあります。
- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分にゆるめてから接続してください。故障している場合、モーターが回り、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



- リールの回転している部分には触れないでください。けがをする恐れがあります。
- ハンドルの逆転ストッパーが働いていることを確認してからモーターを駆動させてください。
- 本体を分解したり、改造しないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。

お取扱上の注意

1 電源について

電源は、直流 (DC) 12 V 対応です。

指定外の電源 (家庭用の交流 100 V、船電源の直流 24 V など) は、使用できません。

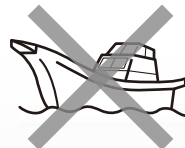
- 容量の小さいバッテリーは、電圧の降下が早く、電動リールの性能を十分に発揮できないことがあります。10 Ah 以上のバッテリーをおすすめします。
- 船の 12V 電源は、発電機や配線の状態によって電圧が不安定になり易く、リールの保護回路が働き、安定した性能が発揮できなくなったり、動作が停止したりする場合があります。電動リール専用のバッテリーの使用をおすすめします。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- 端子部のサビ等で、通電不良になり正常に作動しない場合があります。サビなどを取り除いてご使用ください。



DC12V



AC100V



DC24V

● 出発前に確認してください。 ●

- バッテリーは、長時間放置されると自然放電により、容量が低下している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行ってください。
- 船の電源には、電圧、接続端子形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。

お取扱上の注意

2 電源コードについて

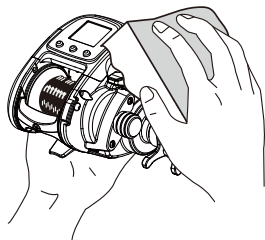
- 電源との接続は、必ず付属の電源コードをご使用ください。
付属（純正）以外の電源コードや接続部の改造等を行った電源コードを使用されると、リールが正常に作動しない場合があります。
- 電源コードは、乱暴に扱わないでください。リールに巻きつけたり、踏みつけたり、折り曲げたりすると、故障（断線）の原因になります。
- ご使用後は、水に浸した布で汚れを拭き取り、乾かせて保管ください。
（水の中につけて洗うことは、おやめください。）
- 保管時は、リールから抜いた状態で保管してください。
- コードを抜く時は、必ずコネクター部を持って抜いてください。
- コードの上に重い物を乗せたり、結んだりする行為はおやめください。
- 電源コードは、リールから外した状態で移動、保管してください。

3 リール本体について

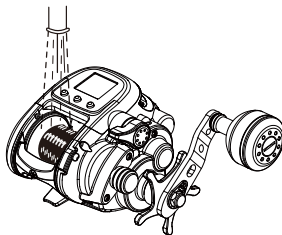
- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないでください。布等で手を保護して糸をつかんで切るようにしてください。
- 落下等による強い衝撃を与えないようにていねいに取り扱ってください。
- 船の竿立てに収める時は、リール後部及び電源コードに衝撃を与えないよう注意してください。

3

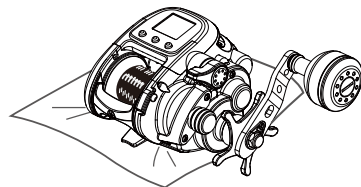
リールのお手入れ方法



- 1** リール本体を洗剤を含ませたスポンジや布等で汚れを落としてください。



- 2** 水をかけて洗剤と汚れを落とします。
スプール部へも水をかけて塩分を落とします。

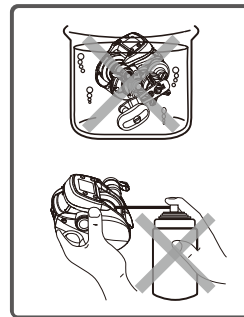


- 3** よく水を切って、陰干しで乾燥させてください。



ご注意

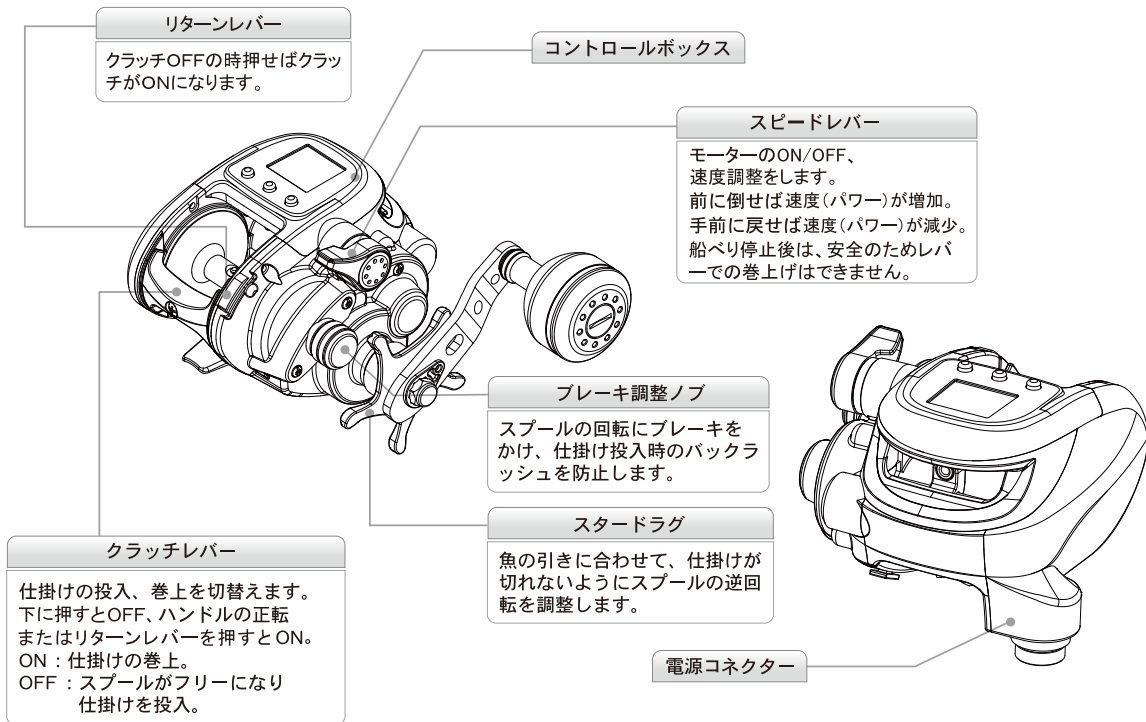
- 洗剤は、中性洗剤をご使用ください。
- 水に浸けて洗うことは、おやめください。
- 水洗いの際、シャワー等の強い水圧で水洗いを行うと、ベアリングやサイドカバー内の油分が流出し、故障の原因となるので注意してください。
- 高温、高湿の状態では長時間放置されると、変形や強度劣化の恐れがあります。
- 洗浄後は、風通しの良い、高温・高湿にならない場所で保管してください。
- ドラグ部分には絶対オイル等を注油しないでください。ドラグ力の低下や作動不良の原因になります。
- 水抜き穴からグリースを注入しないでください。グリース等で配線の被覆を傷める事があります。
- ドラグ部への浸水及び固着防止の為、水洗いの前はドラグを締め、保管の際はドラグを緩めてください。
- コネクター部の保護のため、リールをご使用にならない時はコネクターキャップをしてください。



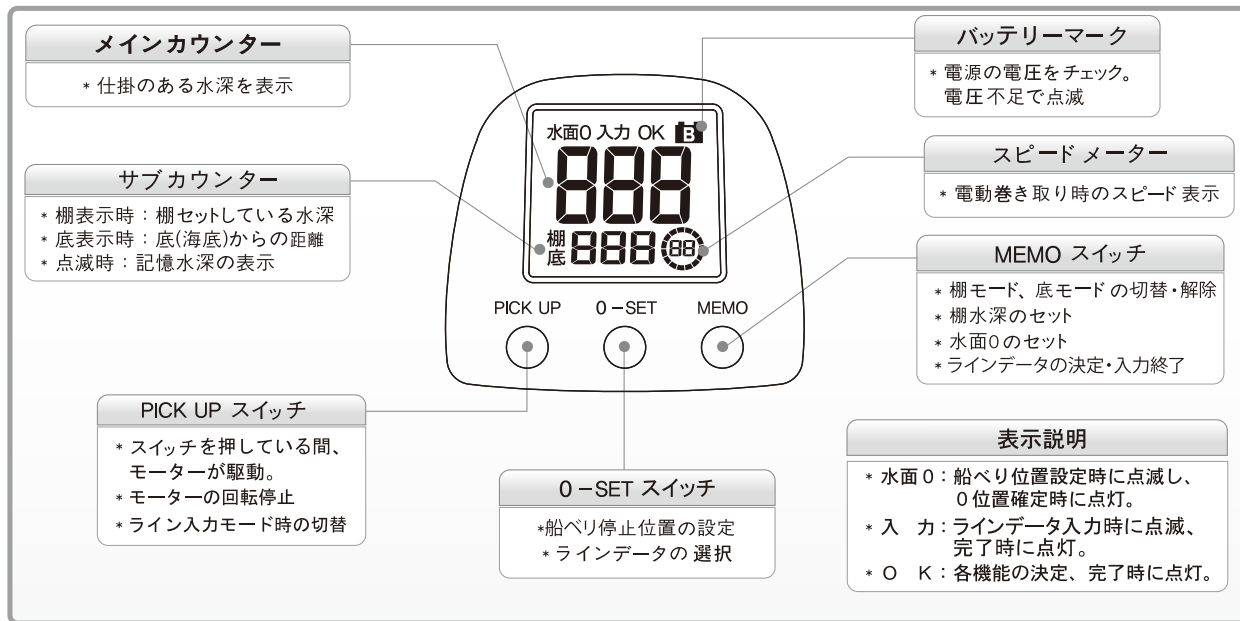
主な機能と特長

スピードレバー	レバー操作でモーター起動、巻上のスピード(パワー)調整が可能。
カーボンドラグ	滑り・パワー・耐久性に優れたカーボン素材を採用。
チョイ巻	スイッチを押している間、モーターが回転し、糸ふけ取りや誘いに便利。(変速は出来ません)
パーフェクトフリースプール	クラッチOFFで駆動部との完全分離。軽い仕掛けも簡単に底取り可能。
リターンレバー	素早いクラッチONが可能。
船ベリ自動停止	竿や仕掛けに合わせて船ベリでの停止位置を設定可能。
水面0セット	水面の位置を 0mに設定。より正確な棚合わせが可能。
棚セット	魚の釣れた水深を記憶させれば、仕掛け投入時にアラームでお知らせ。
自動棚記憶	魚の釣れた棚を巻上後に船ベリで確認・セットが可能。
底モード	底(海底)からの仕掛けの位置を表示。
高切れ修正	道糸が切れた場合、ラインデータの修正を行います。

各部の名称と機能



コントロールボックス各部の説明



ご注意

- ① 図は、説明のため液晶画面を全点灯状態にしています。
- ② カウンタ表示は、-10度以下及び60度以上の場合、液晶の特性上、文字が見えにくくなる事があります。ご了承ください。

ご使用前の準備

電源との接続

- ① 電源コードのクリップをバッテリーに接続してください。
赤クリップを（+）側端子へ、黒クリップを（-）側端子に接続します。（図1）
 - ② 電源コードのプラグ部の凹部とリール本体のコネクターの凸部を合わせて奥まで差し込み、ネジリングでしっかりと締めてください。（図2）
 - ③-1 正しく接続が行われると、セッティング画面が表示され、図3の表示となります。
（デモモード：ラインデータが未入力の状態）
 - ③-2 ラインデータの入力が行われている場合は、セッティング画面の後、図4の表示になります。
 - 図4の状態で立ち上がった時、バッテリーマークが点滅していますが、電圧がOKであれば、5秒後に消去します。
バッテリーマークが消去しない場合は、バッテリーの電圧が低下しています。
交換するか、充電を行ってください。
 - 図4（ラインデータ入力済）の状態で立ち上がった場合は、安全のため、船べり停止水深表示（5m）までは、スピードレバーでの巻上はできません。**[PICK UP]**スイッチでの巻上は可能です。
- * 船べり設定をしていない場合は船べり停止水深表示は5mに設定されています。
- * 5m以上の水深表示にすれば、スピードレバーでの電動巻上が可能です。

図1

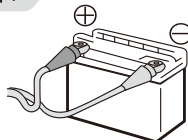


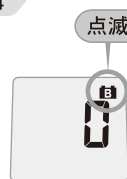
図2



図3



図4



ご注意

- ① 一度電源に接続すると、バックアップ機能が働きます。5分以内再接続の場合は、セッティング画面は表示されませんが、問題ありません。

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法 - A

- 入力されたラインデータを利用する場合。

* このリールには、下記の3つのラインデータが用意されています。

PE3-400m PE4-300m PE5-200m

- ① 糸をレベルワインドに通し、スプールの糸止めピンに結んでください。
- ② 電源の接続を行い、図5の表示画面になったことを確認ください。
(ラインデータが入力されている場合は、表示が異なります)
- ③ **MEMO** と **0-SET** スイッチを同時に3秒押してください。
図6の表示になります。
- ④ **0-SET** スイッチを押して巻かれる糸の号数と長さを選択してください。
スイッチを押す毎に表示が変わります。(図7)

図5



図6



図7



ご使用前の準備

- ⑤ 巻かれる糸と選択したラインデータが合っていることを確認してスピードレバーを操作して糸を巻きます。
- ⑥ 選択されたラインデータの15m手前で自動的にモータが停止します。
停止後は、ハンドルか **PICK UP** スイッチで残りの糸を巻き取ってください。(糸を巻き込まないように注意してください)
- ⑦ 巻き終わったら、**MEMO** スイッチを押して入力完了です。画面表示が図8のように変化します。

図 8



ご注意

- ① 糸を巻く時は、1～1.5kgのラインテンションで巻いてください。
- ② デモモード選択画面で **MEMO** スイッチを押すと、設定されたラインデータは消去され、デモモード(出荷状態)になります。
- ③ 途中で間違えた場合は、一度 **MEMO** スイッチを押して終了させた後、再度最初からやり直してください。
- ④ 水深表示精度は、±3%以下になっていますが、糸巻状態や糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法 - B

- 糸の種類・号数が分かっている時に利用します。
* 入力可能なラインの種類と号数は、PE2号 PE2,5号 PE3号 PE4号 PE5号 PE6号の6種類です。
- ① 糸をレベルワインドに通し、スプールの糸止めピンに結んでください。
- ② 電源の接続を行い図9のような画面表示になったことを確認してください。
(ラインデータ入力されている場合は、表示が異なります)
- ③ **MEMO** と **O-SET** スイッチを同時に3秒押してください。
図10の表示になります。
- ④ **O-SET** スイッチを押して、入力モードにします。(図7、図11参照)
- ⑤ **PICK UP** スイッチを押して、巻き取るラインの種類・号数及び下巻きの有無を選択してください。
スイッチを押す毎に、表示が変わります。(図12)

図 9



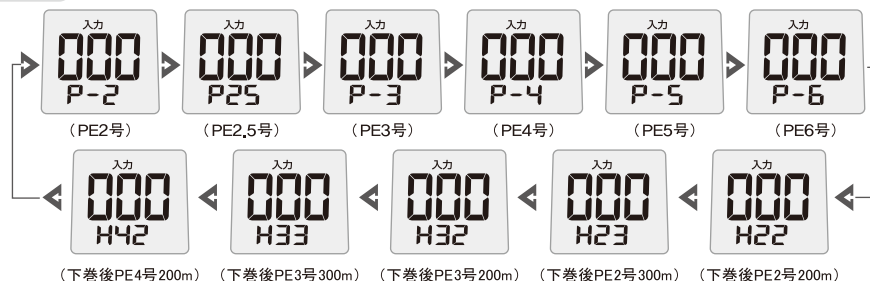
図 10



図 11



図 12



ご使用前の準備

- ⑥ セットされた糸と選択した表示が合っている事を確認して スピードレバー の操作で糸を巻きます。
- ⑦ 巻き終わったら **MEMO** スイッチを押してください。

図13のように画面が変化すれば、入力完了です。糸の巻き込みにご注意ください。

図 13



ご注意

- ① 糸を巻くときは、1～1.5kgのテンションで巻いてください。
- ② 途中で間違えた場合は、一度 **MEMO** スイッチを押して終了させた後、再度最初からやり直してください。
- ③ 水深表示精度は、±3%以下となっていますが、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。
- ④ エラー表示「-E1-」が出た場合は、糸の巻き取り量が不足しています。50m以上巻いてください。
- ⑤ 「-CE-」、「-SE-」のエラー表示の場合は、修理が必要です。お買い求めの販売店へ修理依頼をお願いします。



糸の長さ不足



コントロールボックスの不具合



スプール回転検出不具合

ご使用前の準備

ラインデータの入力方法 - C

- 下巻き後にラインデータを入力する場合に利用します。
 - * 下巻き後に入力できる糸の種類と号数は、PE2号 PE3号 PE4号 の3種類です。
 - * 下巻き位置の目安は、「下巻カード」(図14)で確認ください。
 - * 下巻き後に巻かれる糸巻量の目安は、「下巻カード」で確認ください。
- ① 下巻き用の糸をレベルワインドに通し、スプールの糸止めピンに結んでください。
 - ・スプール面での糸滑り防止のため、「糸止めピン」に糸を結んでください。
- ② 電源の接続を行い、下巻き用の糸を巻きます。
 - ・下巻カードを使用して、使用する上巻糸に対応した下巻き位置を確認します。
- ③ 下巻き完了後、上巻糸を結びます。
- ④ **MEMO** と **0-SET** スイッチを同時に3秒押してください。
図15の表示になります。
- ⑤ **0-SET** スイッチを押して 入力モードにします。(図7・図11・図16参照)
- ⑥ **PICK UP** スイッチを押して、下巻き後の糸の種類と号数の表示を選択します。(図12・図17)

図14

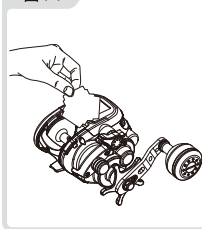


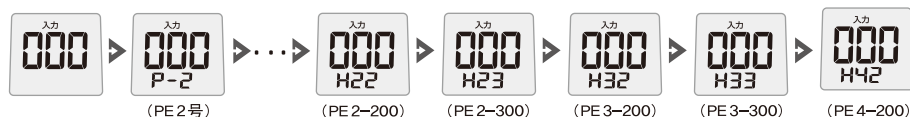
図15



図16



図17



ご使用前の準備

- ⑦ スピードレバー の操作で糸を巻きます。
- ⑧ 上巻糸を巻き終えたら、**MEMO** スイッチを押して入力完了です。
画面表示が、図18のように変化します。

図18



* カウンター内の数値は例として表示しています。
実際に巻かれた場合に同じ数値を示すわけではありません。



ご注意

- ① 糸を巻くときは、1～1.5kg のテンションで巻いてください。
- ② 途中で間違えた場合は、一度 **MEMO** スイッチを押して終了させた後、再度最初からやり直してください。
- ③ 水深表示精度は、± 3 % 以下となっていますが、下巻きの位置や、糸巻状態、糸の伸縮等により誤差が大きくなる場合があります。
- ④ PE3号以下を使用される場合は、糸の巻き過ぎやバックラッシュ等で、スプールと本体の隙間に糸が入り込む事がありますので注意してください。

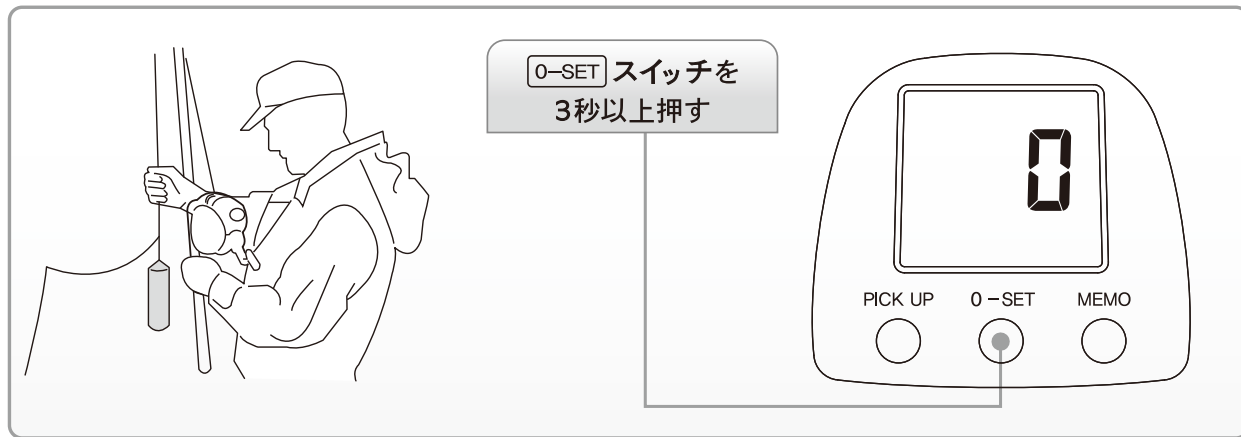
操作方法

1 船べり自動停止

- 竿を立てると、仕掛けが手元の高さになるように電動巻取りの停止位置を設定します。
- 停止位置の5m手前から1mおきにアラームでお知らせします。

操作手順 ①：リールから糸を出して、仕掛けをセットした後、電源を接続します。

操作手順 ②：仕掛けが手元にくるように糸の長さを調節します。



操作方法

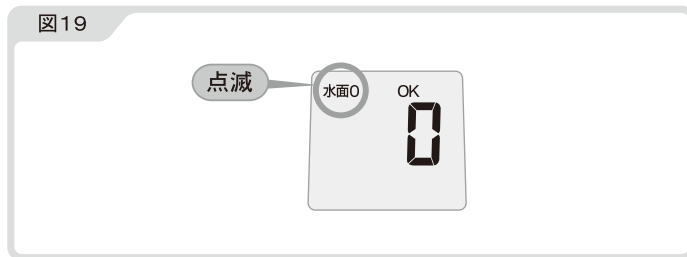
操作手順 ③ : **O-SET** スイッチを3秒以上押します。

アラームがなり、画面表示が図19のようになれば、停止位置の設定完了です。

* この時、「水面0」が点滅します。水面0設定を続けて行うことができます。

* 「OK」表示は、5秒間点灯後消去します。

図19



ご注意

- ① 船べり設定を行わずに仕掛けの投入を行うと、船べり停止位置は5 mになります。
- ② 糸に掛かる負荷により糸が伸縮して停止位置がずれることがあります。その際には再設定を行ってください。
- ③ 「水面0」点滅中に水面0設定を行わずに仕掛けを投入して釣りをおこなっても問題ありません。
カウンター表示10以上で自動的に「水面0」は消去します。

操作方法

2 水面 0 設定

- 正確な棚取りを行うために、水面の位置を「0」として設定します。

* 船べり停止位置の設定完了時、画面表示に「水面0」が点滅しています。(図20)

操作手順 ①：竿を前に出し、仕掛けが水面にくるようにハンドルで調整します。

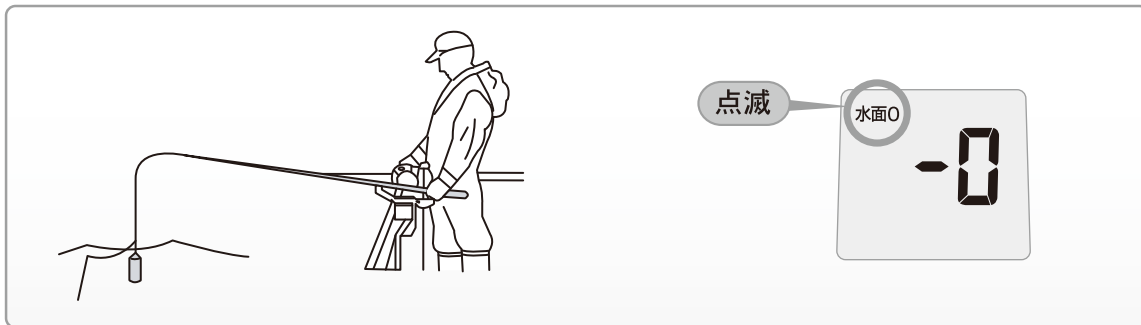
* 仕掛けを水面まで巻き上げると、水深表示は「-0」になります。

図 20

点滅

水面0

0



点滅

水面0

-0

操作方法

操作手順 ② : **MEMO** スイッチを押してください。その位置が水面 0 位置になります。

画面表示の水面 0 が点滅から点灯に変わり、OK 表示が点灯。(図 21)

* 水面 0、OK 表示は、メインカウンター 10 以上で自動的に消去されます。

図 21



ご注意

- ❶ 水面 0 の位置は、船べり停止位置ではありません。

操作方法

3 棚モード

- 魚のいる水深（棚）を記憶し、アラームでお知らせします。

操作手順 ①：仕掛けを投入し、棚で仕掛けを止めます。

操作手順 ②：MEMO スイッチを押します。棚セット完了です。

* メインカウンターの水深が、サブカウンターに表示されます。(図 23)

* 次回からの投入時、棚の 5 m 手前から 1 m 間隔でアラームがお知らせします。

自動棚記憶

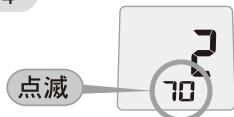
- 仕掛けを巻上げた後で魚の釣れた水深を棚セットする場合。

操作手順 ①：仕掛けを巻上げます。

* メインカウンターの表示が 10 未満になると、サブカウンターに水深が点滅します。(図 24)
(点滅している水深は、最深部、または 5 秒以上停止した水深)

操作手順 ②：水深が点滅している時に MEMO スイッチを押すと、点灯に変わり棚セットされます。(図 25)

図 24



MEMO
スイッチを押す

図 25



* 点滅中に MEMO スイッチを押さずに仕掛けを 10 m 以上出した場合、

- ① 前に棚セットしていれば、前の棚セット水深が表示されます。
- ② 棚セットをしていなければ、消去されます。



ご注意

- ① 10 m 未満の水深での棚セットは行えません。
- ② モータ回転中の棚セット、解除は行えません。

図 23



MEMO スイッチを押す



操作方法

4 底モード

- 底（海底）から仕掛けまでの距離を表示します。

サブカウンターに 棚・底 の表示が出ていない場合。

操作手順 ①： **MEMO** スイッチを押します。(図 27)

＊ サブカウンターに **棚** と表示されます

(メインカウンター表示が 10 m 以上あれば、棚セットされます)

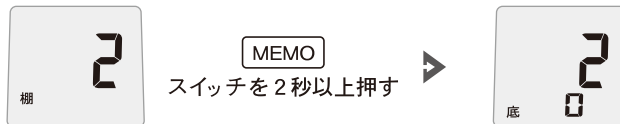
操作手順 ②： もう一度、**MEMO** スイッチを 2 秒以上押してください。

＊ サブカウンターに **底 0** と表示されます。(図 28)

図 27



図 28

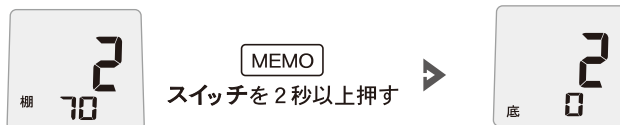


サブカウンターに **棚** 表示が出ている場合。

操作手順 ①： **MEMO** スイッチを 2 秒以上押してください。

＊ サブカウンターが **棚** 表示から **底 0.0** 表示に変わります。(図 29)

図 29



操作方法

底モード使用方法

操作手順 ①：仕掛けを底（海底）まで落とし、糸ふけを取ります。

＊サブカウンターに糸ふけを取った距離が表示されます。（図 30）

操作手順 ②：MEMO スイッチを押してください。

＊サブカウンターの表示が「底 0」になります。（図 31）



- サブカウンターを消去したい場合は、MEMO スイッチを5秒以上押してください。
棚/底表示、水深表示が消去します。

操作方法

5 高切れ修正

● オマツリ、フグ等により道糸が切れた場合、ラインデータの修正が可能です。

* 高切れ修正は、10 m以上の道糸が切れた場合に行います。

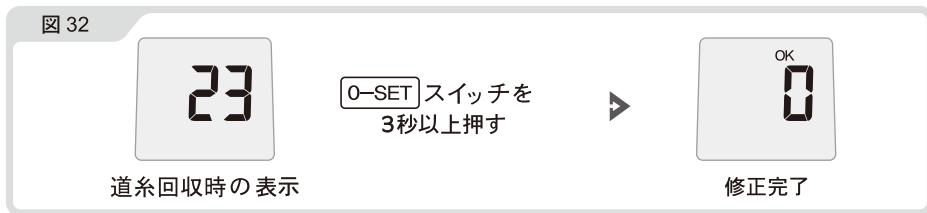
操作手順 ①：道糸を回収し、仕掛けを結びます。

操作手順 ②： **0-SET** スイッチを 3 秒以上押してください。(修正完了)

* アラームが鳴って、メインカウンターの 0 になります。(図 32)

* サブカウンターに OK 表示が出ます。

図 32



* 高切れ修正後、船べり停止位置 水面 0 の再設定を行ってください。



ご注意

① 高切れ修正後、船べり停止位置の設定を行わないで仕掛けを投入すると、船べり停止位置は、5 mになります。

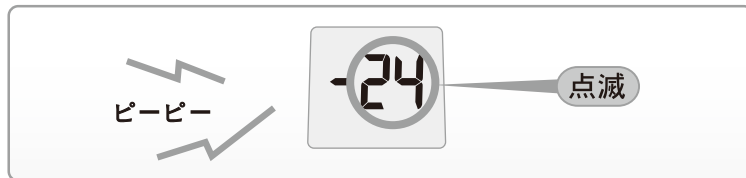
便利な機能（セーフティ機能）

1 バッテリー（電源）チェック

- 電源接続時にバッテリー（電源）の電圧をチェックします。
 - ① 電圧がOKであれば、点滅しているバッテリーマークが5秒後に消去します。
 - ② 電圧が低い場合は、バッテリーマークは点滅のままです。
- * バッテリーを交換するか、再充電を行ってください。



- ③ 電源の電圧がリールの使用可能範囲より高い場合、アラームと画面表示で警告します。その電源の使用をおやめください。



便利な機能（セーフティ機能）

2 メモリーバックアップ

- 釣りをしている時、不意にコードやクリップが外れても安心です。約5分間は、水深情報等のデータは記憶されています。



ご注意

- ① 電源が外れた状態でラインの放出や巻取りを行わないでください。カウント誤差の原因となります。

3 過負荷制御（ブレーカー）

- リールの巻上速度(巻上力)に対して過負荷が掛かり、スプールの回転が停止（連続で約30秒間）した場合、モーター保護のためブレーカーが作動し、モーターを停止します。アラームがなり画面表示が点滅します。
- スピードレバーを一度OFF位置に戻せば、巻上げは復帰します。
- 最大速度でブレーカーが連続3回作動した場合、モーターの起動ができなくなります。電源コードを抜いて10分以上経過後、再接続して下さい。



ご注意

- ① 巻上げを復帰させる場合、ラインにかかっている負荷を軽減させた状態で行ってください。

故障かな？と思われた時は

- お問い合わせ、修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。

症状	考えられる原因	確認・対処方法
液晶画面の表示が出ない。	● 電源コードが正しく接続されていない。 ● 電源コードの断線。 ● バッテリーの電圧不足。	● 正しく接続してください。 ● 販売店へご相談ください。 ● 充電もしくは他のバッテリーでご確認ください。
カウンター表示の誤差が大きい。	● ライン設定の誤り。 ● ラインの伸びによる。	● 再度、ライン入力を行ってください。
電動での巻上げができない。	● 表示が0になっている。 ● バッテリーの容量不足。 ● 接続端子が錆びている。 ● 船の電源を使用している。 (配線等の関係で、電圧降下) ● 電源コードプラグ部の接触が悪くなっている。	● 船べり停止距離以上の水深 表示にしてください。 ● 充電もしくは、他のバッテリーで確認ください。 ● 電源端子ならびに、コードクリップ部の錆びを落として確認ください。 ● 専用バッテリーでご確認ください。 ● 電源コードを交換して確認してください。

- * 以上の確認を行っても、正常に戻らない場合は、故障内容をできるだけ詳しく書いていただき、お買い求めの販売店に修理依頼をお願いします。

● 製品コード

ギヤ比(手動時)		自重	最大ドラグ力
4.7:1		595g	12kg
糸巻量		ボールベアリング数	電源電圧
PE	フロロ		
3号ー400m	6号ー200m	6	DC12V～14.8V
4号ー300m			
5号ー200m			
実用巻上力		最大巻上速度(無負荷)	実用巻上速度(1kg負荷)
6.0kg		200m/min	120m/min
JAFS基準巻上げ力		JAFS基準速度	
10kg		200m/min	

* JAFS基準: 日本釣り用品工業会規定、電源電圧13Vにおける測定値

</

Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name	Key No.	Parts Name
1	コントロールボックス	31	フロントカバーA	61	ボールベアリング	91	ライトカバー部組
2	スクリュー	32	スクリュー	62	メタルカラー	92	ラインストッパー
3	スクリュー	33	タップスクリュー	63	スクリュー	93	スクリュー
4	フロントカバーB	34	リテイナー	64	スクリュー	94	スクリュー
5	レフトカバー	35	ワッシャー	65	フレイムカバー	95	スクリュー
6	ナット	36	ブッシュ	66	Oリング	96	Oリング
7	スプリングワッシャー	37	パイプ	67	PM-ナット	97	軸受
8	コネクタ部組	38	レベルワインド部組	68	ストッパー部組	98	リテイナー
9	防水キャップ	39	レベルワインドピン	69	ストッパープレート	99	ワッシャー
10	ワッシャー	40	ワッシャー	70	スクリュー	100	ワッシャー
11	ボールベアリング	41	ナット	71	クラッチカム	101	テンションノブ
12	リング	42	ウームシャフト	72	プレート	102	Oリング
13	スプール部組	43	ブッシュ	73	キックレバー	103	ワッシャー
14	スクリュー	44	ワッシャー	74	キックレバースプリング	104	メタル
15	モーターカバー部組	45	リテイナー	75	スプールギヤー	105	スピードレバー
16	Oリング	46	トラバースギヤー	76	クラッチバー	106	歯付座金
17	モーター部組	47	リテイナー	77	コイルスプリング	107	ナット
18	タップスクリュー	48	ボールベアリング	78	リテイナー	108	レバーキャップ
19	フレイム部組	49	太陽ギヤー部組	79	ワッシャー	109	スプリングワッシャー
20	レバーピン	50	ギヤーシャフト部組	80	軸受	110	クリックホルダー部組
21	リターンレバー	51	軸受	81	ワッシャー	111	スプリングワッシャー
22	カムスプリング	52	インターナルギヤー	82	ギヤーメタル	112	ワッシャー
23	T-ナット	53	ボールベアリング	83	ラatchet	113	スタードラグ
24	クラッチレバーカム部組	54	ワッシャー	84	ワッシャー	114	ワッシャー
25	クラッチレバー	55	ピニオンギヤー	85	ワッシャーD1	115	ハンドル部組
26	スクリュー	56	リテイナー	86	ドラグワッシャー	116	リテイナー
27	タップスクリュー	57	タップスクリュー	87	ドライブギヤー	117	ハンドルナット
28	ピラー	58	スクリュー	88	ワッシャーA	118	スクリュー
29	リテイナー	59	ワッシャー	89	ワッシャーD2	119	電源コード
30	スクリュー	60	連結ギヤー	90	スリーブ		

alpha tackle

ATEC INC.

株式
会社 **エイテック**

[東京営業本部]

〒173-0012 東京都板橋区大和町42-11
TEL 03-3963-8451(代) FAX 03-3963-0776
e-mail tokyo@alphatackle.com

[本社・物流センター]

〒410-0853 静岡県沼津市常盤町3-17-1
TEL 055-963-1711(代) FAX 055-951-5380
e-mail numazu@alphatackle.com